

2021年のVC投資動向 米国・欧州・中国・日本の4地域比較

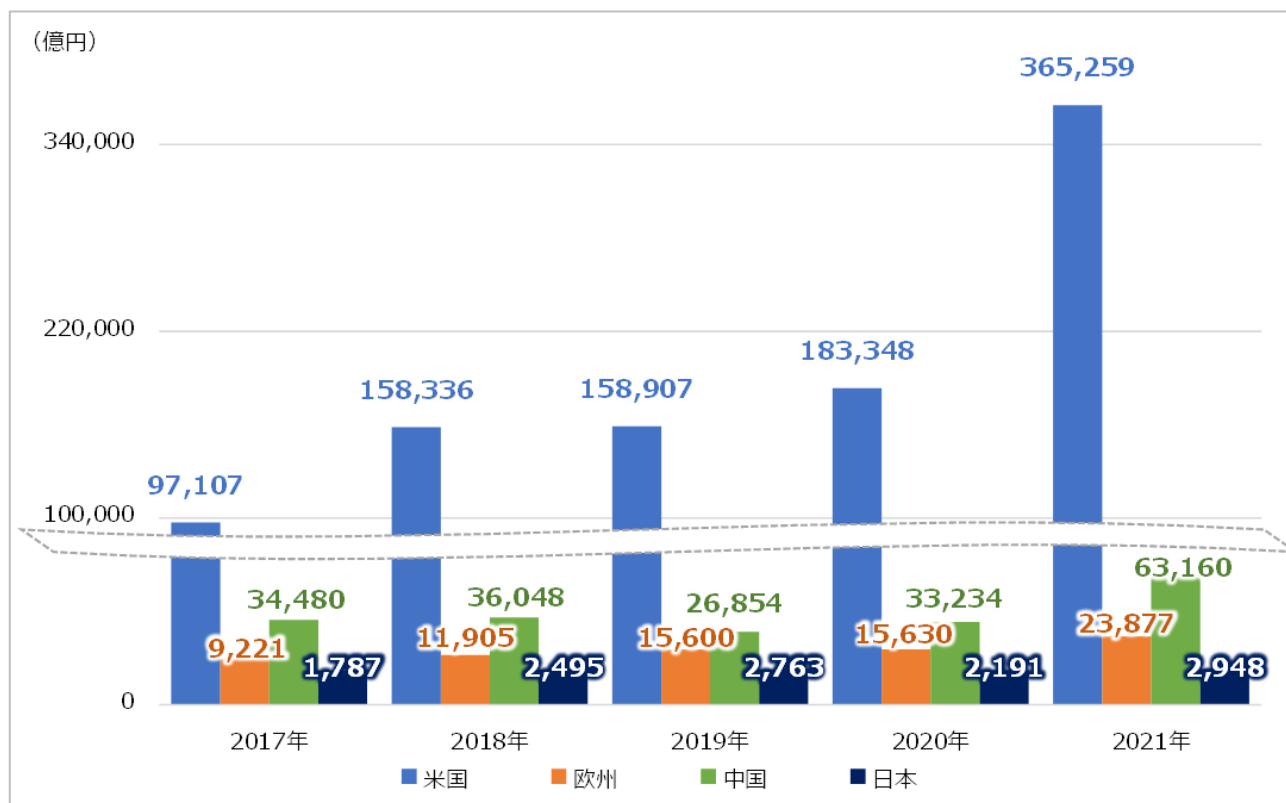
本稿では、2021年1～12月のVC投資動向を、米国・欧州・中国・日本の4地域に焦点を絞って比較する。米国と欧州については、NVCA（National Venture Capital Association）および Invest Europe による公表データをもとにしている。また、中国については、www.pedata.cn に公表されたデータを参照した。なお、日本については、VEC 四半期報のデータを合計することにより、2021年1～12月の暦年ベースの数値を算出した。

1 VC投資

(1) VC投資金額の国際比較（2017～2021年）

米国・欧州・中国・日本の4地域における2021暦年のVC投資金額（円換算）をみると、米国が36.5兆円と前年の18.3兆円から99.2%増とほぼ倍増し、2020年以前の水準からは突出した水準に達している。次いで中国が6.3兆円を記録し、前年の3.3兆円から90.0%増と、米国同様に大きな伸びを示している。一方、欧州の投資金額は2.4兆円と前年の1.6兆円から52.8%の増、日本は0.3兆円と前年の0.2兆円から34.6%の増と、4地域とも既往ピークは更新したなかで、日本は他の3地域の増加率には及ばなかった（図表1）。

図表1 VC投資金額（円換算）の国際比較（米国・欧州・中国・日本）



（出所：以下のすべての図表に共通）

米国：NVCA, YEARBOOK 2022, VEC 作成

欧州：Invest Europe, Investing in Europe : Private Equity Activity 2021, VEC 作成

中国：Zero2IPO、2022年中国股权投资市场回顾与展望、VEC 作成

日本：VEC 各四半期調査（2021 Q1～2021 Q4）の単純合計（年次調査の年度数値とは異なる）

（注1）米国・欧州・中国の投資金額の円換算に際しては2021年の各国通貨の平均為替相場（1ドル=109.75円、1ユーロ=129.83円、1人民元=17.02円）で2017年～2021年のデータを日本円に換算

（注2）米国・中国は国内投資。欧州・日本は海外投資も含む

なお、各国通貨建ての VC 投資金額の推移は図表 2 のとおりである。

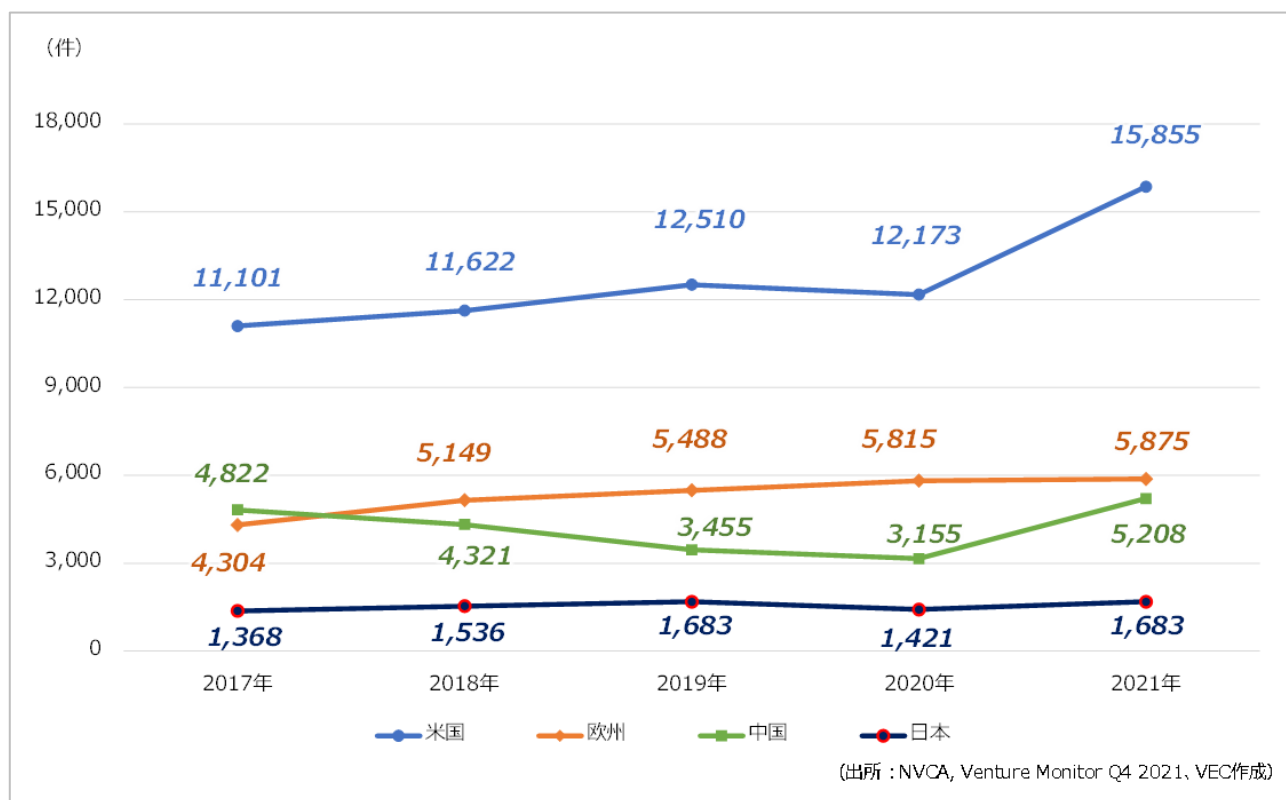
図表 2 4 地域の VC 投資金額の直近 5 年間の推移 (現地通貨建て)

| | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 米国 (億ドル) | 885 | 1,443 | 1,448 | 1,671 | 3,328 |
| 欧州 (億ユーロ) | 71 | 92 | 120 | 120 | 184 |
| 中国 (億元) | 2,026 | 2,118 | 1,578 | 1,953 | 3,711 |
| 日本 (億円) | 1,787 | 2,495 | 2,763 | 2,191 | 2,948 |

(2) VC 投資件数/社数の国際比較 (2017~2021 年)

2021 年の VC 投資件数/社数は、米国の 15,855 件、欧州の 5,875 社、中国の 5,208 件、日本の 1,683 件の順になっている。これを前年比で見ると、4 地域のすべてで増加しており、前年比増加率を算出すると、中国が 65.1% 増でトップ、以下、米国の 30.2% 増、日本の 18.4% 増、欧州の 1.0% 増と続く (図表 3)。

図表 3 VC 投資件数の国際比較 (米国・欧州・中国・日本)



(注 1) 欧州のみ社数。他は件数

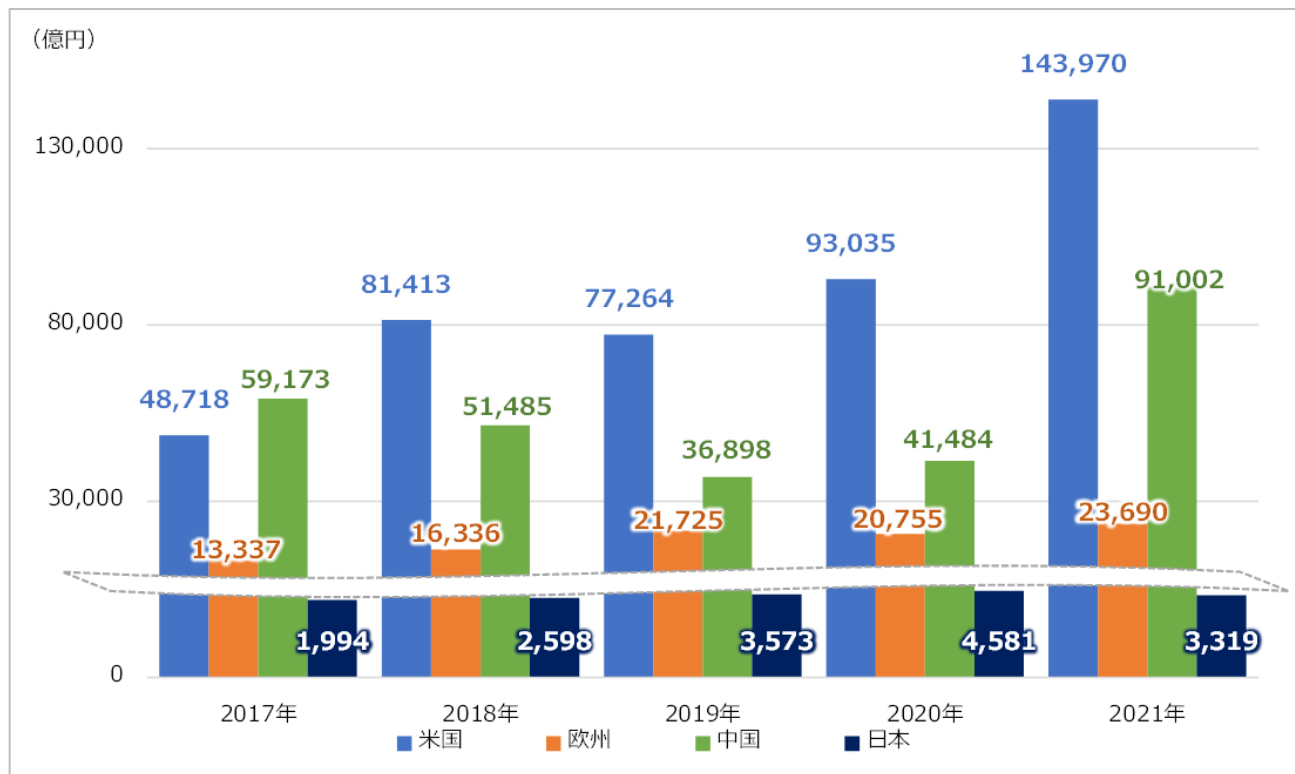
(注 2) 米国・中国は国内投資。欧州・日本は海外投資も含む

2 VC ファンド

(1) VC ファンド組成金額の国際比較 (2017~2021 年)

米国・欧州・中国・日本の4地域における2021暦年のVCファンド組成額(円換算)をみると、米国が14.4兆円と前年の9.3兆円から54.7%の増、中国が9.1兆円と前年の4.1兆円から119.4%の増、欧州が2.4兆円と前年の2.1兆円から14.1%の増と、いずれも増加しているなかで、日本は0.3兆円と前年の0.5兆円から27.5%の減となっている(図表4)。

図表4 VC ファンド組成金額(円換算)の国際比較(米国・欧州・中国・日本)



(注) 米国・欧州・中国のファンド組成金額の円換算に際しては2021年の各国通貨の平均為替相場(1ドル=109.75円、1ユーロ=129.83円、1人民元=17.02円)で2017年~2021年のデータを日本円に換算

増加した米国・欧州・中国のなかでは、中国のファンド組成金額の前年比伸率が突出しているが、Zero2IPOによれば、政府指導ファンドのような100億元(1,700億円)を超えるメガファンドが相次いで設立され、ファンド規模の大型化が進んだとしている。

同様に米国でも、VCファンドの規模は一貫して大型化を続けており、NVCAは、その背景として、次の2点をあげている。

- ① デールの規模やバリュエーションが年々上昇し、企業のExitまでの期間が長期化しているため、VCにとって投資先企業のレイター・ステージへの成長の支援に必要な大型ファンドの組成が必須となってきたこと。
- ② レイター・ステージの非伝統的投資家^(注)の活動が注目されるようになってきたことから、競争力を維持するためにVCは、より大きなファンドの組成に迫られていること。

(注) 非伝統的投資家には、事業法人、CVC、PEファンド、パイアウトファンド、グロースファンド、メザニンファンド、ミューチュアルファンド、ヘッジファンド、クロスオーバー投資家などが含まれる

なお、各国通貨建ての VC ファンド組成金額の推移は図表 5 のとおりである。

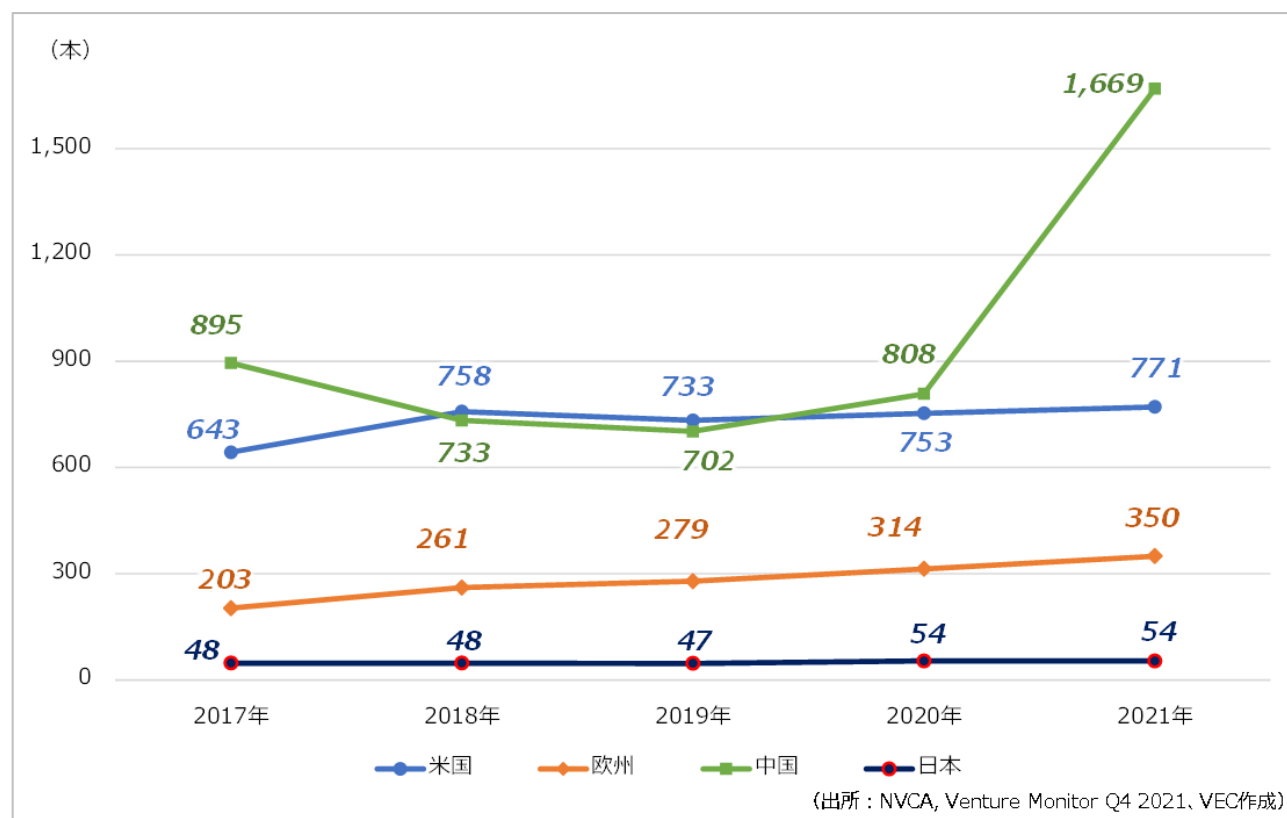
図表 5 4地域の VC ファンド組成金額の直近 5 年間の推移（現地通貨建て）

| | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 米国（億ドル） | 444 | 742 | 704 | 848 | 1,312 |
| 欧州（億ユーロ） | 103 | 126 | 167 | 160 | 182 |
| 中国（億元） | 3,477 | 3,025 | 2,168 | 2,437 | 5,347 |
| 日本（億円） | 1,994 | 2,598 | 3,573 | 4,581 | 3,319 |

(2) VC ファンド組成本数の国際比較（2017～2021 年）

一方、2021 年の VC ファンド組成本数をみると、中国が 1,669 本で前年の 808 本から 106.6%の増と大きく伸びており、次いで米国が 771 本で前年の 753 本から 2.4%の増、欧州が 350 本で前年の 314 本から 11.5%の増、そして日本が 54 本で前年と並びとなっている（図表 6）。

図表 6 VC ファンド組成本数の国際比較（米国・欧州・中国・日本）



Zero2IPO は、中国のファンド組成本数が前年比倍増した要因として、前述の政府指導ファンドのようなファンドの大型化が進む一方で、1 億元未満（17 億円未満）の中小以下のファンドの数が昨年より増加したことをあげている。中国では、ファンドの二極化が進んでいるようだ。

また、米国の 2021 年のファンド組成本数が前年比微増にとどまったのは、既存ファンドの組成本数は増加したものの、新規ファンドの組成本数が 2018 年の 234 本をピークに、2019 年の 200 本、2020 年の 204 本、2021 年の 184 本と、減少傾向にあることが一つの要因になっていると、NVCA ではみている。そして、ここ数年のこうした新規ファンド組成の低迷は、多くの LP がパンデミックの不確実性から、敢えて実績のない新規ファンドのリスクを取るよりも、既知の VC との取引関係に依存していたとしても不思議はないとしている。

3 終わりに

本年は「スタートアップ創出元年」と位置付けられている。「スタートアップを生み出し、規模を拡大する環境の整備」と、「大企業とのオープンイノベーションの支援」を柱として、6月に閣議決定が予定されている「スタートアップ5か年計画」によって、スタートアップへの投資が促進され、今後の日本の起業環境が大きな飛躍に導かれることが大いに期待される場所である。

以 上